



大樹

岩田小学校たより No.12

令和3年10月27日

～志をもって 進んで考動する子～

運動会号

校内運動会、いよいよ今週末！ 応援 お願いします

【一輪車演技について】

一輪車演技は、岩田小が伝統的に取り組んできたことの一つです。

毎年、運動会では、学級の集団演技を披露してきました。運動会が近づくと、子どもたちと相談しながら、今年はどうなことに挑戦しようか、技や構成はどうしようかと考え、一輪車の取組を通して心身の成長につなげていました。

このような中、1学期に、一輪車練習で、膝に深い傷を負う子が目立つという事例がありました。保健室への来室の実態から、今後、大きなけがをするようなことは避けなければならないという危機感をもちました。これをきっかけに、職員が一輪車について改めて学ぶ必要性を強く感じ、夏休みに一輪車を指導している方を講師にお招きし、安全な一輪車乗りの基本について研修しました。そして、主に配慮が必要なことを確認しました。

- 膝当てを付けることで、大きなけがを防ぐことができる。
- 学級全員で手をつないだ演技は、一人一人の体勢が崩れることになり危険。
手をつなぐ場合は少人数で、すぐに手を離せるようなつなぎ方でないと危険。
- 姿勢よく乗ることを意識する。
- 一輪車の安全な乗り降りに意識する。

特に、高学年の子どもたちは、学級みんなで手をつないだ難しい技に挑戦することを目指してきました。そのため、手をつなぐ技が制限されたことにより、子どもたちの正直な思いとして、様々な思いを抱いたことは理解しなければならないと受け止めています。

今までは、全員で同じ技に挑戦することで達成感を味わってきた子どもたちです。全員で同じ技に挑戦することも表現方法の一つですが、今後は、子どもたちと新たな視点で考え、新たな発想で表現について考えていきたいと思えます。

【新たな視点で一輪車演技を考えてみた例】

- 違う技を、組み合わせる。 ○より美しい演技に近づけるために、動きを考える。
- 教科の学習とコラボレーションする。 ○演技にストーリー性をもたせる。 等

表現方法は様々あり、子どもたちが表現について話し合うことを楽しめるようになるとよいと思えます。そして、豊かに発想することを楽しみながら、友達を互いに思いやって協力する経験を積ませたいと考えています。

ぜひ、運動会での子どもたちの演技をご覧ください。

【お願い】運動会当日の天候によっては、防寒対策が必要となります。体操服の上から羽織ることができる服を御準備いただくとありがたいです。お願いします。

※裏面は、保健室に、けがで来室した様子について分析した結果を載せました。

【養護教諭の分析より】

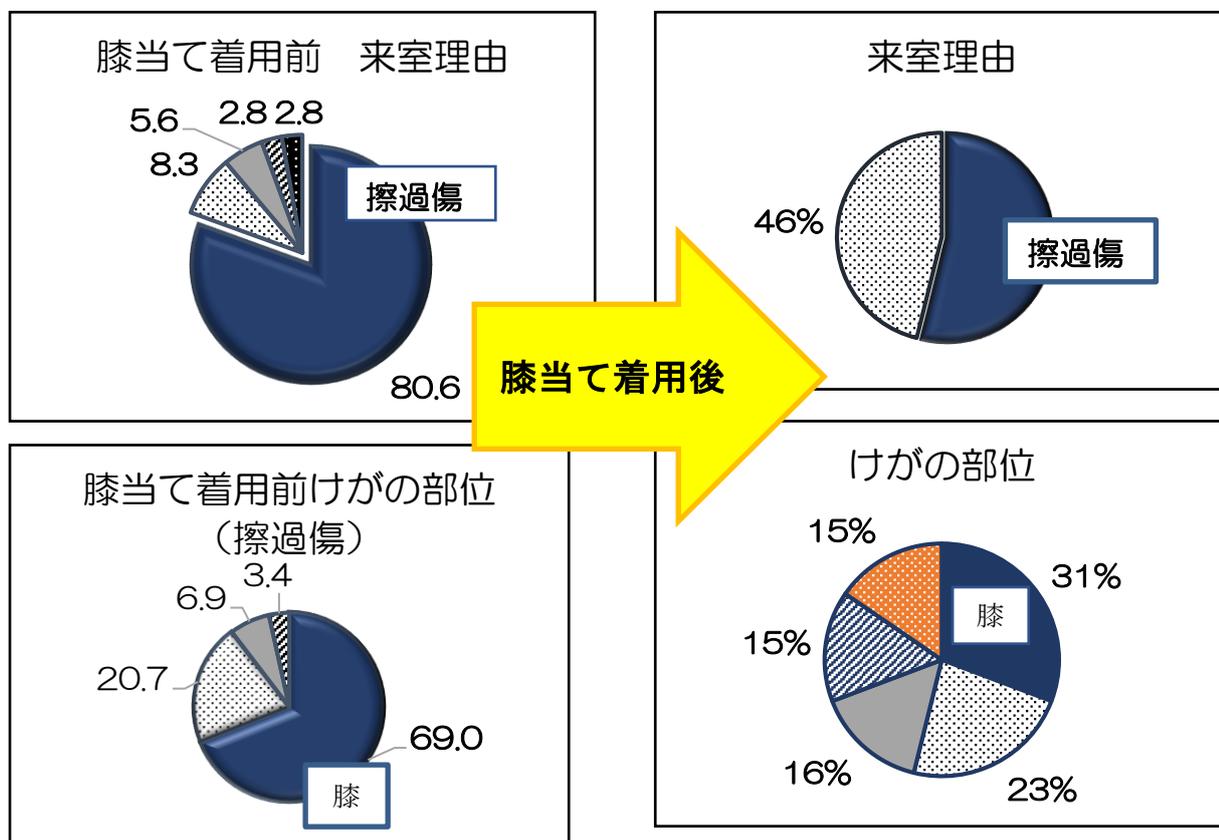
運動会まであと一週間ほどになり、授業中や昼休みなどに一輪車の練習に取り組む子どもたちの姿が多くみられます。一輪車の練習が盛んになってきたことで、一輪車によるけがでの来室も増加しています。そこで、今回の通信では、これまでのけがの発生状況の集計結果やけがの未然防止に関する取組について取り上げます。

10月は、すでに22件のけがが発生しています。また、発生時刻については、1学期には昼休みが多かったですが、2学期には授業中に一輪車の練習を行うようになったことで、授業中に多く発生しています。

膝当て着用前のけがで最も多いものは、擦過傷で全体の約8割も占めています。

けがをした部位に注目してみると、膝が69.0%と最も多く、次いで肘(20.7%)、大腿(6.9%)、下腿(3.4%)の順番になっています。中には、一輪車で転倒して何度も同じ部位を受傷したために、治りかけていた傷が悪化してしまったという事例もありました。

10月8日から膝当てを着用して練習するようになり、擦過傷で来室する人は少なくなりました。子どもたちの練習の様子を見てみると、転倒したときに膝当てをしていたためけがをせずに済み、「この膝当てめっちゃ性能いい！膝当てがなかったら危なかった！！」と、膝当てによってけがを防ぐことができているということを実感しているようでした。膝当てをしていることで安心感もあるようです。また、倒れた一輪車に引っかかって派手に転倒したが、膝当てをしていたおかげで事なきを得たという事例もありました。



このような中、6年生では一輪車によるけがが一件も発生していません。学年が上がるにつれて技能が高くなっているということもあると思いますが、他にも理由があるかもしれないと思い、6年生の集団演技を見学してみました。

<6年生でけがが発生していないのはなぜ・・・！？>

- ① 一輪車から降りるときに、必ず一輪車のサドルを手に持ってから降りている
- ② 一輪車から落ちた後に、倒れた一輪車を素早く地面から起こしている(倒れたままにしない)

運動会まで残りわずかとなりました。練習中に子どもたちの集中力を高め、けがを防ぐことも指導も工夫しています。保健・安全の面から子どもたちをサポートしていきます。